

令和4年度

---

# 事業計画書

---



白河商工会議所

## 目 次

I	白河商工会議所を取り巻く概況	1
II	白河商工会議所の使命と役割	1
III	基本方針	3
IV	委員会活動について	4
V	部会活動について	6
VI	中小企業相談所事項について	8
VII	事務局事項について	9
VIII	諸団体との連携事項について	9

はじめに

## I 白河商工会議所を取り巻く概況

2021年の世界経済は、20年初以降の新型コロナウイルス感染拡大に伴う未曾有の落ち込みも、4～6月期には、各国の経済政策が功を奏し、アメリカ、中国、欧州のいずれの国・地域においても、はっきりとしたプラス成長に転じました。また、11月下旬に南アフリカで確認されたオミクロン株は、爆発的なスピードで全世界に拡大し、再度、短期的な経済活動の混乱を引き起こしましたが、各国とも、ワクチン接種による感染対策と経済活動の両立に取り組み、全体的には大きな落ち込みには至らない状況で推移しています。

しかし、2月24日のロシアによるウクライナ侵攻は、世界経済に大きな衝撃を与え、原油や小麦等の価格高騰による「高インフレ」や「市場混乱」、更には、それらに伴う「景気減速」の警戒感が強まっています。しかし一方では、先進各国を中心として、ポストコロナを見据え、デジタル化推進を含め「経済社会の変革」を促すための政策が強力に推進されています。

我が国経済は、2021年9月末まで緊急事態宣言等が断続的に発出され、消費の鈍化が続いていましたが、10月以降、宣言が解除される中、社会経済活動の段階的引き上げに伴い、個人消費が上向き、景気の持ち直しが見られはじめています。今後は、更に感染対策を徹底し、感染症と経済活動を両立させることで、「成長と分配の好循環」と「コロナ後の新しい社会の開拓」をコンセプトにした「新しい資本主義の実現」を目指していくとしています。

福島県内においても、2021年5月と8月に県独自の「非常事態宣言」、また2022年1月から3月6日までは「まん延防止等重点措置」が県全域に発出され、地域経済に大きな影響を及ぼしましたが、福島県は独自の支援策を講じる等コロナ禍での事業継続に配慮した政策を逐次進めてきました。次年度においても、8つの重点プロジェクトにより「新たな復興ステージ」や「人口減少対策」を中止として、切れ目なく重点施策に取り組んでいくとしています。

そのような中、白河市においても、コロナ関連の消費喚起対策や先進的なワクチン接種対策を積極的に進める一方、ポストコロナを見据え、白河の様々な魅力を活かすことで、「転職なき移住」や「移住・定住」の受け皿づくりを進めようとしています。

このような状況下において、白河商工会議所には、緊急課題として「新型コロナウイルス対策の強化」が求められる一方、長期的にはポストコロナを視野に入れた「総合的な地域経済の振興」と「地域商工業者の経営基盤強化」に向けた施策の構築が求められています。

## II 白河商工会議所の使命と役割

白河商工会議所には、「会員のためのきめ細かな支援」と「地域商工業の総合的な改善発達と社会一般の福祉増進」に取り組む使命があり、その実現のため、次年度は次の4本の柱により活動を展開して参ります。

### 1. 中小企業・小規模事業者を元気にする活動の強化（個社支援）

コロナ禍の苦境を克服していくための支援として「経営相談窓口を通じた資金繰りや申請サポート」を拡充して参ります。また、ポストコロナを見据えた「ビジネス変革への挑戦」や「デジタル化による生産性向上」への後押し支援を強化する一方、引き続き「事業承継や創業」「売上維持拡大」「インボイス制度」「働き方改革」「事業継続」等の支援を継続して参ります。また、第1次経営発達支援計画の最終年度に当たること

から、事業の総括と新規計画策定に取り組んで参ります。

## **2. 地域や地域経済を活性化する活動の強化（地域支援）**

地方創生の再起動への取り組みとして、「地方分散型社会への受け皿づくり、人口減少対策」等に取り組んで参ります。また、若手人材発掘とベンチャービジネス創出を実現するため、「若手起業家等による研究会」を創設して参ります。また、新たな観光振興事業として「南湖魅力発掘事業や渋沢栄一翁顕彰事業」に取り組むとともに、引き続き「若者の地元定着」や「中心市街地活性化」に力を入れて参ります。

## **3. 会員企業や地域の抱える課題の克服に繋がる政策提言（後押し支援）**

引き続き、地域や商工業者に必要な政策や要望事項を各委員会及び各部会において協議検討し、白河商工会議所として積極的な提言・要望活動を展開して参ります。また、的確な課題を把握するため各種実態調査や懇談会を開催して参ります。また、次年度に議員改選があることから円滑な改選に向けて諸準備を進めて参ります。

## **4. 組織財政基盤の強化・会議所活動の見える化（持続組織確立・信頼性向上）**

安定して会員や地域の負託に応えていくため、今まで以上に会員増強や共済制度推進に力を傾注し、組織及び財政基盤の強化を図って参ります。また、新たな収益事業の検討に取り組むと共に、商工会議所機能の強化・高度化・デジタル化を図るため、職員の資質の向上はもとより事務局業務へのIT導入やペーパーレス化の実践に努めて参ります。

また、商工会議所の見える化を進めるため、ホームページやSNSを積極的に活用するほか、会報の紙面充実を図って参ります。

結びに、白河商工会議所は、地域内唯一の総合的な経済団体としての使命と役割を果たしていくため、令和4年度基本方針に基づき、役職員一丸となり全力を尽くして参ります。

### Ⅲ 基本方針



## 令和4年度 白河商工会議所 基本方針

### I. 中小企業・小規模事業者を元気にする活動の強化【個別支援】

項目	主な取り組み
1. 新型コロナウイルス感染拡大の影響を克服し、成長・発展するための支援	相談窓口支援強化、事業継続対策（資金繰り、雇用維持・確保、売上維持・拡大、補助金利活用、新陳代謝）など
2. 生産性向上への取り組み	IT活用、付加価値向上、業務効率化など
3. ビジネス変革への挑戦支援	デジタル化による生産性向上、後押し支援
4. 事業承継への対応と創業・第二創業の促進	研修育成、マッチングなど
5. 売上維持・拡大への支援	消費喚起策、販路開拓、新製品・サービス開発など
6. 働き方改革への対応	働き方改革法対応・支援、個別相談など
7. インボイス制度への対応	インボイス制度施策普及など
8. 事業継続のための防災・減災対策	BCP策定、中小企業強靱化法対策など
9. 経営発達支援事業計画の推進	経営発達支援事業の推進、総括、新計画策定など

### II. 地域や地域経済を活性化する活動の強化【地域支援】

1. 地方創生への取り組み	地方分散型社会への受け皿づくり、移住・定住、人口減少対策・人口流出対策など
2. ベンチャービジネス創出への取り組み	若手人材発掘・育成、研究会の創設など
3. 地域資源活用への取り組み	地域資源活用、農商工連携など
4. 若者の地元定着への取り組み	若者と企業とのマッチング、情報発信など
5. 中心市街地活性化のための取り組み	第3期基本計画の推進（4年目）など
6. 観光振興（再生）への取り組み	南湖魅力発掘、渋沢栄一翁顕彰など
7. 女性会・青年部との連携強化による地域活性化	青年部創立40周年、各種イベント事業など

### III. 会員企業や地域の抱える課題の克服に繋がる政策提言・要望活動・調査【後押し支援】

1. 課題把握に基づく政策提言・要望活動の実行	的確な課題把握に基づく政策提言・要望活動
2. 委員会・部会活動の活発化による討議の場拡充	課題・ニーズの把握、対応
3. 各種実態調査の実施	経営状況調査、事業承継調査など
4. 円滑な議員改選への取り組み	対応、体制・機能強化（委員会編成など）

### IV. 組織財政基盤の強化・会議所活動の見える化【持続組織確立・信頼性向上】

1. 会員拡大、共済・保険制度推進等による組織財政基盤の強化	体制整備・推進実行
2. 新たな収益事業の確立・推進	新たな収益事業の企画立案
3. 商工会議所機能の強化・高度化・業務デジタル化	業務効率化、IT利活用、経営指導の高度化
4. 情報発信力強化	HP・SNSの活用、会報の充実、有益情報の発信
5. 職員の資質向上	OJT・ノウハウ共有、外部研修の参加

#### 具体的な数値目標

1. 会員数：年間60件（職員一人5件）を達成し、10件の純増を目指す。
2. 共済制度：ベストクラブ100%達成と生命共済（増口）60口を目指す。（職員一人5口）
3. 積立金：年間1,000万円以上の内部積立金を目指す。

## IV 委員会活動について

### ①総務運営委員会（委員長：鈴木清次）

1. 組織・財政基盤の強化・会議所活動の見える化
  - 1) 会員拡大による組織力の強化
    - 商工会議所活動のPR強化
    - 会員サービス事業の充実、会員交流大会の開催による会員満足度の向上
    - 役員・議員・会員による会員紹介の推進
  - 2) 共済・保険制度の推進等による財政基盤の安定強化
    - 共済・保険制度等のPR強化・利用促進
  - 3) 情報発信力強化
    - HP、SNS活用による会議所活動の見える化
    - HPを活用した会員ページ・議員ページの運用
  - 4) ペーパーレス化の推進
2. 会員企業や地域の抱える問題の克服につながる政策提言・要望活動
  - 1) 課題把握に基づく政策提言・要望事項の検討
3. その他必要な事項

### ②地域振興委員会（委員長：鈴木雅文）

1. 地域や地域経済を活性化する活動の強化
  - 1) 事業承継対策
    - 事業承継に関する実態調査・研究・勉強会等の開催
  - 2) 若者地元定着・地方分散型社会に向けた調査・研究
    - テレワークによる地方移住に向けた都市づくりの調査・研究
  - 3) 地域資源活用による地域経済の活性化
    - 会議所HPでの会員企業紹介ページの作成
2. 会員企業や地域の抱える問題の克服につながる政策提言・要望活動
  - 1) 課題把握に基づく政策提言・要望事項の検討
3. その他必要な事項

### ③商業活性化委員会（委員長：安田好伸）

1. 中小企業・小規模事業者の実態把握と新たな施策の検討
  - 1) 事業承継及び創業・第二創業に向けた支援
    - 事業承継に関するアンケート調査による実態把握（重点区域：中心市街地）
    - 白河市商店会連合会との意見交換会の開催（事業承継対策・商業活性化への取り組み）
    - with コロナ・after コロナを見据えた新産業創出及び成功事例の調査・研究

2. 地域や地域経済を活性化する活動の強化
  - 1) 国道294号沿線の商業活性化に関する調査・研究
    - 白河バイパス開通後の中心市街地賑わい創出に向けた調査・研究
    - 地元商店会との意見交換会の開催
3. 会員企業や地域の抱える問題の克服につながる政策提言・要望活動
  - 1) 課題把握に基づく政策提言・要望事項の検討
4. その他必要な事項

#### ④情報化推進委員会（委員長：細谷岳男）

1. 地域や地域経済を活性化する活動の強化
  - 1) ITを活用したビジネスモデル変革への調査・研究
    - デジタル実装に取り組む先進事例の調査・研究・勉強会
  - 2) 情報発信力強化
    - 会議所HP・SNSを活用した情報発信・事業所PR
2. 会員企業や地域の抱える問題の克服につながる政策提言・要望活動
  - 1) 課題把握に基づく政策提言・要望事項の検討
3. その他必要な事項

#### ⑤環境整備委員会（委員長：小野利廣）

1. 中小企業・小規模事業者を元気にする活動の強化
  - 1) 働き方改革への対応
    - 働き方改革関連法への対応状況や雇用環境に関する調査・研究
  - 2) 事業継続支援
    - 防災・減災対策（BCP策定）取り組み状況に関する実態調査
    - 健康経営に関する実態調査
2. 地域や地域経済を活性化する活動の強化
  - 1) 地方創生への取り組み
    - 白河市が目指す将来像への調査・研究（勉強会等）
3. 会員企業や地域の抱える問題の克服につながる政策提言・要望活動
  - 1) 課題把握に基づく政策提言・要望事項の検討
4. その他必要な事項

#### ⑥観光開発委員会（委員長：青木かおる）

1. 地域や地域経済を活性化する活動の強化
  - 1) 新たな観光振興
    - 視察研修や勉強会による観光施策に活かせる地域資源の発掘
    - 南湖公園の新たな観光振興に関する調査・研究

2. 会員企業や地域の抱える問題の克服につながる政策提言・要望活動
  - 1) 課題把握に基づく政策提言・要望事項の検討
3. その他必要な事項

#### ⑦まちづくり委員会（委員長：安澤莊一）

1. 地方創生への取り組み
  - 1) 地方創生に関する調査・研究
    - 地方分散型社会の受け皿づくりについて
  - 2) シビックプライドの醸成への取り組み
    - 高校生へのアンケート調査
    - 「便利な田舎暮らし」への調査・研究
2. 会員企業や地域の抱える問題の克服につながる政策提言・要望活動
  - 1) 課題把握に基づく政策提言・要望事項の検討
    - 「立教館」を基本理念とした「新武道館建設」の継続要望
3. その他必要な事項

### V 部会活動について

#### ①商業部会（部会長：金内貴弘）

1. 中小企業・小規模事業者を元気にする活動の強化
  - 1) 売上維持・拡大への支援
    - 地域ブランド発信の成功事例を学ぶ勉強会の開催
    - 補助金等のタイムリーな有益情報の発信強化
  - 2) インボイス制度への対応
    - インボイス制度セミナーの開催
2. 会員企業や地域の抱える問題の克服につながる政策提言・要望活動
  - 1) 課題把握に基づく政策提言・要望事項の検討
3. その他必要な事項

#### ②工業部会（部会長：大原一一）

1. 中小企業・小規模事業者を元気にする活動の強化
  - 1) デジタル化による生産性向上、ビジネス変革等への果敢な挑戦に対する後押し
    - 人材定着・育成に向けた研修会の開催
    - 人手不足に対応した生産性向上に向けた取り組み
    - 関係機関との情報交換会の開催
2. 会員企業や地域の抱える問題の克服につながる政策提言・要望活動
  - 1) 課題把握に基づく政策提言・要望事項の検討
3. その他必要な事項

### ③運輸交通業部会（部会長：人見守良）

1. 働き方改革への対応
  - 1) 人手不足・働き方改革に関する勉強会の開催
2. 先進地事例の視察・研修
  - 1) 運輸交通業におけるモーダルシフトの先進地事例の視察・研修
3. 会員企業や地域の抱える問題の克服につながる政策提言・要望活動
  - 1) 課題把握に基づく政策提言・要望事項の検討
4. その他必要な事項

### ④金融業部会（部会長：山崎知彦）

1. 中小企業・小規模事業者を元気にする活動の強化
  - 1) 部会員の情報発信強化
    - 部会員の商品・サービス・販路開拓支援情報などを会員向けに情報発信
  - 2) 部会員の交流促進
    - 「白河を知る研修会」と併せた情報交換・交流会の開催
2. 地域や地域経済を活性化する活動の強化
  - 1) 白河を知る研修会の開催
    - 白河の歴史や文化、食などの魅力について知る研修会の開催
3. 会員企業や地域の抱える問題の克服につながる政策提言・要望活動
  - 1) 課題把握に基づく政策提言・要望事項の検討
4. その他必要な事項

### ⑤建設業部会（部会長：松本義則）

1. 勉強会・情報交換・視察
  - 1) 白河市の建設事業の状況把握
  - 2) 震災被災地の10年間の復興事業に取り組み視察
  - 3) 建設業に役立つセミナー・勉強会の開催
2. 会員企業や地域の抱える問題の克服につながる政策提言・要望活動
  - 1) 課題把握に基づく政策提言・要望事項の検討
    - 白河実業高校に新設される建築科に土木教育カリキュラムの導入を要望
3. その他必要な事項

### ⑥旅館飲食業部会（部会長：瀬谷安男）

1. 中小企業・小規模事業者を元気にする活動の強化
  - 1) 新型コロナウイルス対応のための支援
    - LINE 公式アカウントを利用したタイムリーな情報提供
    - 売上・利益回復への支援
  - 2) 新制度対応のための支援
    - 新制度（インボイス制度等）についてのセミナーや個別相談会の開催

2. 会員企業や地域の抱える問題の克服につながる政策提言・要望活動
  - 1) 課題把握に基づく政策提言・要望事項の検討
3. その他必要な事項

#### ⑦ 庶業部会（部会長：遠藤貴男）

1. 先進地視察・交流会
  - 1) 最先端技術の先進地視察研修
    - 異業種交流を兼ねた最先端技術の先進地等の視察研修会の開催
  - 2) 異業種交流会を兼ねた交流会の実施
    - 部会員事業所による交流会・懇談会の開催
2. 会員企業や地域の抱える問題の克服につながる政策提言・要望活動
  - 1) 課題把握に基づく政策提言・要望事項の検討
3. その他必要な事項

### VI 中小企業相談所事項について

#### 1. 基本方針

新型コロナウイルス感染症の影響により、人やモノの移動が制限され、経済活動の停滞や事業環境の激変により、多くの中小企業・小規模事業者が困難に直面しております。

さらに、相次ぐ自然災害、世界的な半導体・原材料部品の供給不足、資源価格の高騰に加え、我が国の構造的課題である少子高齢化に伴う国内市場の伸び悩み、後継者難や人手不足、デジタル化の遅れといった懸案もあり、中小企業・小規模事業者にとっては、今後も難しい経営の舵取りが求められることが予想されます。

一方、こうした事業環境下においても、事業を継続・発展させていくためには、いかにしてニューノーマルに柔軟に対応し、新たな需要・ニーズを捉え、新サービスの創出、事業の再構築などに取り組んでいくことが重要であります。

今後はポストコロナを見据え、経営環境の変化を前提とした中小企業・小規模事業者の持続的な成長・発展に向けて、計画最終年となる「経営発達支援事業」を推進する。

こうした状況を踏まえ、以下の基本方針を定め、中小企業・小規模事業者に対するきめ細かな伴走型支援に取り組んで参ります。

第一に、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている中小企業・小規模事業者に対する相談窓口対応を強化し、総力をあげて事業継続対策の支援に取り組んで参ります。

第二に、中小企業・小規模事業者にとって、常に「最初に相談したい、頼りになる支援機関」となるために、地域企業のライフステージ（創業・成長・成熟・承継）に応じた総合パッケージによるきめ細かな個別支援に積極的に取り組んで参ります。

第三に、国等の政策・施策の動向を的確に把握し、施策の周知・活用促進による経営支援の実施と他の支援機関及び専門家との連携を促進し、様々な課題に対応して参ります。

第四に、行政をはじめとした関係諸団体と強い連携のもと、地方創生、中心市街地の活性化、地域資源の活用など、地域経済を活性化させるための面的な環境整備に取り組んで参ります。

## 2. 重点事項

- 1) コロナ禍を構造的な課題である人手不足の克服や生産性向上、働き方の変革を喚起する好機と捉え、デジタル化による生産性向上やビジネス変革等への挑戦に対する後押し支援を実施する。
- 2) 経営発達支援事業の推進による伴走型支援を実施するとともに、計画最終年となるため5ヶ年の取り組みを総括し、新計画の策定に着手する。
- 3) 中小企業・小規模事業者の多様かつ高度な経営課題の解決に向け、職員の資質向上と各支援機関・専門家との連携を強化し、経営支援の高度化に取り組む。
- 4) 事業承継に向けて早期・計画的な取り組みを推進し、後継者育成に取り組む。

## Ⅶ 事務局事項について

コロナ禍の影響により苦境に立つ地元商工業者への支援強化を図り、会員・地域ニーズに即応した、きめ細やかなサービスの提供に努める。若い組織を強みにし、企画力・行動力の向上を図り、ポストコロナを見据えたより一層効果的な事業を推進する。

令和4年度は次の事項を重点的に取り組む。

- 1) 組織力の強化と財政基盤の安定強化に向けて、会員拡大、共済・保険制度等を積極的に推進し、数値目標達成に取り組む。さらには、新たな収益事業を企画立案する。
- 2) 経営相談機能を強化し、事業継続及びビジネス変革等への後押し支援に取り組む。
- 3) 若手人材発掘及びベンチャービジネス創出実現に向けて、若手起業家等による研究会を創設し、地方創生への取り組みを推進する。
- 4) 実態調査等によりの確に課題を把握し、それに基づく政策提言・要望活動を積極的に実行する。
- 5) 若者の地元定着のための地元企業説明会や中心市街地の賑わい創出に向けた取り組みを、引き続き実施する。
- 6) 商工会議所活動の認知度向上のため、会報の紙面充実を図り、ホームページやSNSを積極的に活用し、商工会議所の見える化に取り組む。
- 7) 会員サービス事業の開発・拡充に取り組み、会員間のつながり・連携を後押しする。
- 8) ITを活用した業務効率化を図り、商工会議所機能を強化する。
- 9) 円滑な議員改選に向けた準備・対応を図る。
- 10) 所内外の研修で得たノウハウを情報共有する仕組みを構築し、組織全体としての支援力向上・職員の資質向上を図る。

## Ⅷ 諸団体との連携事項について

次の事務委託団体及び関係機関等と連携して、事務の円滑化を図り各団体の目的達成に資する。

- ・白河市商店会連合会
- ・白河珠算連盟
- ・白河ロータリークラブ
- ・白河南ロータリークラブ
- ・白河市自衛隊協力会
- ・白河国道4号4車線化整備促進活動期成会
- ・白河市中心市街地活性化協議会
- ・白河市内商工会議所・商工会連絡協議会
- ・（公財）白河観光物産協会
- ・（公財）日本電信電話ユーザ協会白河地区協会
- ・（一社）白河・西郷広域シルバー人材センター
- ・白河地域再生可能エネルギー推進協議会
- ・白河地区税務関係団体協議会
- ・白河地区警察官友の会
- ・白河西ロータリークラブ
- ・白河ライオンズクラブ
- ・福島エネルギー懇談会白河支部
- ・白河農商工連携産業協議会
- ・県南地域人材育成推進協議会
- ・白河まつり振興会
- ・白河市国際交流協会
- ・福島県産業教育振興会県南支会
- ・（一社）産業サポート白河